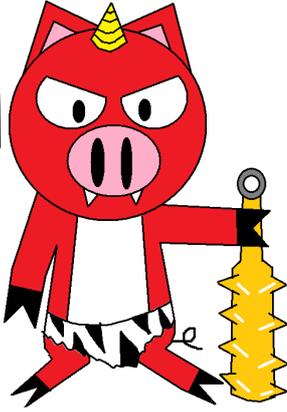


2023年
1月27日
第2号

レオバルト
最強戦車で
オ二退治



見聞録のあるところ

Fujiya (3624 Shelbourne St.)

Japanese Church (877 North Park St.)

<http://victoriakenbunroku.weebly.com>

見聞録へのご連絡は、

メール : vicken21@hotmail.com

Victoria社会情報

借金地獄

BC州民の多くがクレジットカード(クレカ)使用により「借金」の深みにハマっていることがわかった。各月にクレカで支払った全額を返すより、明細書に指定された「Minimum」最低支払額のみを払ってしまう。例えば月に500ドルの買物をして、最低支払額は\$10そこそこ。すると、毎月クレカのバランス(請求書残高)にかけられる利子も加算され、バランスは大きく膨らむことになる。

某金融機関の調査(MNP Consumer Debt Index report)によると、そのバランスが膨らみすぎてにっちもさっちもいかなくなり「破産(bankruptcy)」手続きをせざるえない状態に陥った人が昨年11月で974件(BC州)にも達した。

BC州内ではクレカ所持人口のおおよそ半分がこうしたクレカ借金に苦しんでいるとする。残り半分はなんとかバランスを

ビクトリア日系人教会

どなたも歓迎!

www.vicjapanesechurch.com

教会にて通常礼拝

◇日曜礼拝: 午後1時半

(日曜礼拝の方法はHP参照)

◇サンデースクール・ESLクラス

(再開していません)

◇聖書の学びと祈りの時

オンラインにて

問合せ: 石黒 豊 牧師

vicjapanesechurch@gmail.com

☎ 778-350-0826

First Baptist Churchにて

877 North Park St.

Victoria at Quadra St.



増やさないで行けるだろうという堅実派。
昨今の歴史的インフレにより銀行の利子も上がり続けている。生活のためにクレカを使わざるを得ず、またその利子も上がり、こういう状態でBC州民の44%が近い将来、「破産宣告」の危機を感じているということだ。

マウストラップ

Gorge Road 病院にネズミがでた。これを受けて院内に200個ものマウストラップが仕掛けられた。

病院スタッフによると、こんなにたくさんネズミの出現を、それも衛生を約束されるヘルス機関でかかってきたことがない、という。ネズミが出るという環境の不衛生に怒り心頭である。

島の保健所(Island Health)は、ネズミの数が想像外のレベルであるため断じて許されない環境にあるものの、今のところスタッフや患者に悪影響はでていない、とのこと。

Gorge Road 病院は1953年にオープンされた4階建のビル。ベッド数111で、2階までが長期療養患者の病室となっている。3階は長期療養部屋の空き待ちの患者が待機する病棟、4階はRoyal Jubilee 病院やVictoria 市民病院などから移転してきたリハビリ患者の病棟となっている。

数年前からネズミが出現するようになり、その都度ペストコントロールと呼ばれて退治した。にもかかわらず、年々増え続け、今回は院内各所でネズミが走り回るなど爆弾の出現となり患者もスタッフも衛生面への悪影響に怯えている。

ペストコントロールによる対処は、今や週に2回、しかし早くいえば臭いものにフタ、となるため、病院側はこれまで以上に清掃などにも力を入れている。食べ残しの始末も特に重要である。加えて、建物の隙間を念入りに調べて隙間があれば塞ぐなど、あの手この手でネズミの侵入を防ぐ。

また、電気を使ったネズミ退治(electronic sound system)も検討されているとする。それはハイピッチの超音波でネズミを麻痺して殺す、というシステムであるようだ。ネズミが反応するレベルの超音波、しかしヒトは反応しない、というヒトに安全なシステムである。

元から絶たねばネズミは消えない。

アラームが鳴り響く

1月21日土曜日の午後5時半頃、Shelbourne St.にあるHome Depotで火災警報音が鳴り響き、店にいたカスタマー全員とスタッフが避難した。

Saanich 警察が現場に駆けつけ捜査すると、警報音が出たところ、音をたどれば店外に設置されていたゴミ箱の中だった。中に捨てられた不審なパッケージから警報音が鳴り響いていた。

Victoria

見聞録

★コンテンツ★
見聞録のあるところ
Victoria 社会情報
Victoria 治安情報
母国、日本、
ザ・ニッポン・ニュース
お茶の間語り
雑言
生活の知恵
スボラの食卓
覗きました
ちょっと一言
Victoria イベント
Classified
編集後のひとこと

Victoria
Japanese Journal
Jan. 27, 2023
Vol. 22J, No.2

Victoria 見聞録はVictoriaの日本語情報誌
発行日は毎月、7、17 & 27日。
次号は2023年2月7日に発行予定。

Greater Victoria 緊急対応チームが出勤し、パッケージに爆発性がないか調べたところ、中味は火災報知器(smoke detector)だった。誰かがゴミ箱にポイ投げしたときの衝撃で警報音が鳴りだした、と解明された。

その日、午後8時半までに人も周辺もクリアされていつもの状態に戻った。

BMW、時速200*

1月22日日曜日の午後8時前、West Shore エリアのTrans-Canada Hwy(Leigh Rd. 近く)路上、走行90*制限を時速200*でBMWが疾走した。結果は当然、事故を起こすこととなった。近くを走るHyundai Elentraに衝突し、その勢いでBMWはコントロールを失い450*も飛ばされ、中央分離のコンクリートに激突した。

両方の車は大破。どちらのドライバーも無事だったが、Elntraの同乗者は病院に担ぎ込まれた模様。

BMWのドライバーは31歳、スピード違反で告発された。罰金\$368は当然、BMWも7日間差し押さえられることとなった。

B. C. Hydro 詐欺

「B. C. Hydro 支払滞納のため電気ストップ、ビットコインで今すぐ支払」という電話詐欺で被害が多発している。

Victoria Kenbunroku Vol.22J No.2
Jan. 27, 2023: Victoria Japanese Journal
ISSN 1703-616X
Published by BrightGate Info Services
Publisher and Editor: Kay I.
Any reproduction of this work is prohibited
without permission of the publisher.
Copyright reserved.
Email: vicken21@hotmail.com

母国、日本、ザ・ニッポンニュース

<災害関連ニュース>

復興は地域課題になったのか→岸田首相は1月23日の施政方針演説で、初めて「東日本大震災」という言葉を使わなかったことについて、岩手県知事は「復興が地域課題の一つのような扱いになっている」と批判した(1月26日)。「日本としての東日本大震災の位置づけを言葉にして出してほしかった」また、「日本全体の課題として取り組むよう原点に立ち返ってほしい」と述べた。

オクトパス君→宮城県南三陸町で、「置く」と試験にパスする”として受験生らに人気の赤いタコにみえる縁起物の文鎮「ゆめ多幸鎮(たこちん)オクトパス君」(約600g)の製造が最盛期を迎え、同町内のYES工房では色を塗る作業が進められている。もともとタコの名産地である同町で2009年、「食べ物以外で名産のタコをPRしたい」と町観光協会の発案で誕生したオクトパス君だった。2011年の東日本大震災では海沿いにあった工房が流されたが、町民有志で立ち上げた「南三陸復興タコの会」が製造を復活させた。

使い捨てカイロ→使い捨てカイロが命を救う。日本人が作った奇跡。そんな感謝の声が、ウクライナから寄せられた。現地の人々はロシアの軍事侵攻を受けて極寒の冬を過ごす中、兵庫県西宮市の社会福祉法人がカイロを集めて送る活動をしている。受け取った人々の反応が市民集会でオンライン報告され「とっても温かい。支援の心そのもの」と喜びのメッセージが伝えられている。

<社会ニュース>

コロナ感染 31 万人超報告漏れ→厚生労働省は、新型コロナ感染者の全数把握を昨年9月に簡略化した後、65歳以上の感染者約31万4千人分の報告漏れがあった可能性があると発表(1月26日)。実際の感染者数は公表人数よりも多かったとみられるが、厚労省は「感染状況の評価には影響ない」としている。厚労省は、かつて医療機関に全感染者の発生届を求めていたが、昨年9月26日以降は年代別の人数のみの報告とし、発生届は65歳以上の高齢者ら重症化リスクの高い人に限定した。

相次ぐ強盗→8都県(東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・栃木・広島・山口)にまたがり14事件の強盗・窃盗事件が発生し、30数人の実行犯を逮捕した(警察庁)。SNSによる募集や・複数人による犯行、・指示を受けて押し入っているなど手口が似ているため、14の事件は一連のものと疑われている。犯人たちはいずれも10代~30代。

ネット有害情報→警察庁は、インターネット上の有害情報について、サイト管理者などに削除要請を行う対象を3月から大幅に

拡充すると発表した(1月26日)。手製銃が使用された昨年7月の安倍晋三・元首相銃撃事件を受けた対策の一環で、銃器の製造や殺人・強盗の誘いなど7類型を対象に加える。要人テロや、各地で頻発している「闇バイト」による強盗などを防ぐ狙いがある。

歯科矯正の金銭トラブル→実質無料を謳った歯科矯正の治療費を巡る金銭トラブルで、患者ら150人以上が歯科クリニック側に2億円近くの損害賠償を求めて1月26日に集団提訴する。訴状などによると、全国に展開している歯科クリニックの運営会社などは歯列矯正の治療費についてSNSなどで宣伝すれば150万円以上の報酬が支払われ、実質無料になると勧誘していた。しかし、実際には契約後、報酬が支払われなくなった。原告の30代女性は「治療もしていないのにお金だけ支払っている状況なので、本当に早く何とかしたいという思いでいっぱいです」。

サラッと一句、川柳コンクール→第一生命保険は、2022年9月から10月にかけて「サラッと一句!わたしの川柳コンクール」(サラ川)を実施。今回の応募総数は前年を約2万句以上も上回る8万5437句が集まり、このほど全国優秀100句が決定した。コロナ禍で定着した生活、急激な物価高をネタとした川柳が数多く入選。「サイフより スマホ忘れが 致命傷」「ふるさとへ 帰る代わりに 税納め」「また値上げ 節約生活 もう音上げ」「青春に打ち込んだもの 嗚呼ワクチン」「ワクチンと 村上打って 熱上がる」など。

お茶の隅 語り

ああ、非情



by ヨシダ

昨年12月だったか、「親が子を訴えた」というニュースがあった。親が子に改心を訴えたのではなく、親が子を相手取って裁判所に訴えたのだ。詳細には、息子とその妻(日本でいうなら『嫁』)の二人を訴えた。

シニアとなった親 VS その息子夫婦、という確執は日本でも実によくある話である。とくに息子が長男で「嫁」を迎えて親と共に住む場合、確執はつきもの。ほとんど日本文化でもある。それでも「確執」は一つ屋根の下のみで繰り広げられるものだが、今回は「訴訟」で公にも知れることとなったのだ。

今回「親が息子夫婦を訴えた」のは、対岸Richmondに住む中国系カナダ人のシニア夫婦。中国も同じく長男夫婦は両親と同居、という文化があり、それをこのカナダまで引きずってきている。

さて、シニア夫婦の訴えをここに。シニア夫婦は10年以上前に息子夫婦がBurnabyの家を購入する際、10万ドルをその頭金として差し出した。息子家族との同居は中国でのしきたりから当然のこと、今後死ぬまで息子夫婦とその孫たちと生活するものと信じて疑わず、同居における沈黙の条件としても忙しい息子夫婦を助け、孫の世話をし、家の維持を受け持っていた。

息子の家族のために、掃除、洗濯、食事作り、家回りの整備、グロサリーショッピングと毎日忙しく立ち回り、まるで召使いのように息子夫婦に仕えた。ついでに光熱費を含む他所費さえ払うこともままあった。

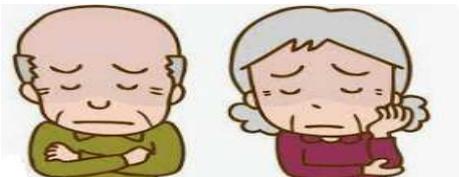
そうして2018年、息子夫婦は家のアップグレードとしてBurnabyの家を売って、Richmondの家を購入した。Burnabyの家は\$835,000で売れ、それをもってRichmondの家を購入した。ただ、そのとき家の売買の手続きにシニア夫婦は関与しなかったのが少し気になったが、10万ドルを差し出したときの口頭での約束どおり、新居もシニア夫婦は共同所有者(joint titleholders)であると信じ、その後も一緒に新居に引っ越し、それまで同様の息子家族をサポートする生活を送っていた。

ところが、昨年9月、雲行きがおかしくなった。なんとなく親子関係がぎくしゃくしてきた感じがした。そして昨年9月シニア夫婦は息子から「家を出る」ようにと言われたのだ。全く、寝耳に水だった。

その息子宣言があってからというもの、インターネットアクセスを切られ、ランドリールームやパントリーのドアにロックを掛けられ、リビングには夫婦を監視するカメラが設置された。こうなるともう、耐え難いではすまなくなった。親に対するこの扱い、非情にもほどがある。食事や料理もままならず、ランドリーも出来なくなったため、汚れ物を親戚の家に運んで洗濯しなければならなかった。

そうして、シニア夫婦は追い詰められ、悲しいながら息子夫婦相手に訴訟に踏み切った。訴訟手続きで、シニア夫婦は家の所有者が息子と嫁のみであることを発見し、驚愕。悲しみは怒りに変わった。

シニア夫婦は訴える。Richmondの新居の所有者(title)を凍結、新居を売りに出す裁判所命令。そうして、最初の頭金10万ドルの配分を望んでいる。10万ドルは不動産沸騰(頭金を差し出したときの購入不動産\$835,000は\$1,272,000へ)でかなり膨らんでいる。加えて、息子夫婦への戒めを課してほしいと。



雑言 ためになる名言

バーバラ・ウォルターズ
元米ニュースキャスター

自分の勘を信じなさい。

(4回の結婚) キャリアがあまりにも重要だったのかもしれない。私は結婚するのが難しい人だったのかもしれない、そして私はただ一人でより良いようだ。

ニュースキャスターという仕事においては、何を尋ねるかなどあらかじめ用意、心の準備はできている。けれども、自分のこととなると、本当に彼と結婚しているのかしら？と結婚式の日まで迷っている。私生活で一番確かな事は一人娘への愛のみである。

(1960、70年代のメディア界は、どの国でも男性支配の世界) 女性がレポートをしたり取材をしても、誰もまじめに取り合ってくれなかった。

父がショービジネスをやっている、その浮き沈みの激しいのを見たためか、私は自分の身は自分で守らなければならないと思った。

生涯ニュースキャスターとしてずっと働きどおしだった。中国という国に4回行ったけれども、結局「中国」を見たことはなかった。

失敗したときは、自分自身を正すとき。そして「失敗」はよいことでもある。なぜならば、成功は決して「運」ではないと確信できるから。

(参考: Wikipedia)

[Barbara Walters: 1929-2022年、米ボストン生。米国のTVジャーナリスト、作家、テレビ司会者。両親共ユダヤ人で、祖先は現在のロシア帝国からの亡命者。父がショー・ビジネスをしていたため、幼い頃からセレブリティに囲まれ全く臆することがなかった。1951年、サラ・ローレンス大学を卒業(英文学士を取得)後、NY市内での職を探した。小さな広告会社で1年ほど勤務した後、NBC系列ニューヨーク支局のWNBT-TV(現在のWNBC)で広報及び報道記者として勤務し始めた。1955年CBSで『The Morning Show』の脚本家となり、1961年、NBC系で気象情報ガールとTV出演が始まった。2022年12月22日死去。]

Fund Raising Event

Coldest Night of the Year 2023, Feb.25

www.ourplacesociety.com

ホームレス、貧困、困窮を救うローカルチャリティ
寒い中を歩く

ファミリーフレンドリー・ウォーク

サインアップや詳細は、

cnoy.org/location/victoriapandra

or, cnoy.org/location/victo

生活の知恵

★ こんなの見つけました ★

ハート・ヘルシースーパーフード(その1)

心臓疾患は、世界的な死因の一つであるが、予防も割に簡単な病気でもある。食べるものにより予防できる病気であることは科学的にも証明されている。自分の命を救うため、寿命を延ばすため、一応の予防手段をとっておこうではないか。

以下、最新研究より心臓によいとされる食材をここにリスト。(参考: healthygem.com/nutrition/mobile-heart-healthy-superfoods)

1. アボカドトーストは心臓を健康にする:アボカドに取りつかれている人にはよいニュース。これからもっとアボカドを食べられると狂喜する。2018年に行われた研究ではアボカドを食べる人は心臓疾患を予防する善玉コレステロール(HDL cholesterol)を多く摂ることができるのだ。善玉コレステロールは余分なコレステロールを回収して動脈硬化を抑えさらに血管壁にたまったコレステロールを取り除いて、肝臓へもどす働きをする。

2. デーツは消化によいのみならず: デーツ(Dates)は通常消化器官によいとされている。しかし、2009年に行われた研究では、心臓を保護することが判明した。甘いため糖分が多すぎると思われがちがデーツを食べると血糖値に影響することなく、臓器に張り付いた脂肪を取り除くというのだ。なんと便利なデーツであろう。他のドライフルーツであれば、ほどほどのビタミンはとれるにせよ食べるほどに血糖値が高くなる。また最新の研究によるとデーツは特別な抗酸化物(老化を防ぐ成分)を含み、それは心臓を改善するという。デーツは蓄積されたコレストロールを28%減少させ、酸化物を33%も減少させる。数粒のデーツは心臓にガンとガッツとガードを入れる。

3. 赤ワインはヘルシーである:これはぜひふんと前から言われていることでさほど驚きはしない。レビューすると、2006年の研究で、ワインを飲む人は善玉コレステロールのレベルが高く、よって心臓と動脈は保護されているとする。また、赤ワイン、言わずもがな、ポリフェノールを多く含み、これによる抗酸化作用や代謝で、糖尿病、高血圧、心臓病などのリスクを早期に低くする。

4. スナックならアーモンド: ナッツは心臓にヘルシーとされるなか、特にアーモンドはダントツによいらしい。

(次号に続く)

二八七二一八九六年
小説家、東京生

あらたまの年の若水
くむ今朝は
そぞろにも
嬉しかりけり



Cooking for the Lazy:

カブのシェパード・パイ

寒い日にアツアツの栄養パイ。カブはスターチがジャガイモより控えめで、かつ繊維が多い。ジャガイモによるこったりとしたシェパードパイよりあっさりとしたシェパードパイの出来上がり。

[材料: 鉄製フライパン Skillet, 10in 分] ルタバガ(カブ rutabaga, 3lb)、ミルク(1/2C)、バター(2tbsp)、ビーフ(lean ground beef, 1lb)、玉ねぎ(1個)、セロリ&ニンジン(各1本)、ニンニク(2片)、グリーンピース(frozen, 1/2C)、ビーフブイヨン(or 粉末, 1tsp)、タイム(スパイス thyme, 1tsp)、小麦粉(2tbsp)、塩&こしょう

1. カブの皮を剥きサイコロ状に切る。鍋に入れてひたひたの水で柔らかくなるまで茹でる(約10-15分)。
2. 1が茹であがったらお湯を切り、ミルク、バター、塩&こしょう少々を加えマッシュしてなめらかにする(フードプロセッサーにかけてよし)。
3. 玉ねぎ、セロリ、ニンジン、ニンニクをみじん切りにし、グリーンピースは水につけて解凍してから水を切る。
4. スキレットでビーフを炒める(中火)。こんがり炒まったところで3を入れて更に炒める(約5分)。
5. 4にブイヨン、タイム、小麦粉、塩&こしょうをしてさっくりと炒める。
6. 5の上に2のマッシュを均等に広げる。
7. オープン(350° F)に入れて約40分、表面がブツブツと吹くまで焼く。

【日本領事出張サービス】

https://www.vancouver.ca/emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00440.html

領事出張サービス(ビクトリア市)の実施

2023年3月11日(土)、9:30am-3:15pm

会場: Oswego Hotel(2階 Kingston Boardroom)

住所: 500 Oswego Street, Victoria, B.C.

(州議会議事堂より西へ1ブロック、Quebec StとOswego St交差点の南)

【実施する業務】

- (1) 旅券(パスポート)の交付
 - (2) 申請済みの各種証明書の交付
- ★2023年2月24日(金)までに当館窓口又は同日当館必着で郵送により事前に受付
- (3) 各種申請の受付[要予約]: 申請した証明書等は、申請日を含め5営業日後に在バンクーバー日本国総領事館にて交付

観ました

【映画感想会】

My Name Is Sara

2019、USC ショア財団 米共同制作(英語、ポーランド語、ドイツ語)、出演：スザナ・サロウイ、ミハリーナ・オルジャンスカ、他

By 見聞録実行員 No. 3

ホロコースト生存者の実話に基づいた映画です。第二次世界大戦時にナチスドイツが約600万人のユダヤ人やロマ、政治犯らを殺害したホロコースト。戦後77年経ち、ホロコースト生存者の高齢化が進み、当時の記憶も薄れていき、体力的にも証言を取るのが難しくなってきたため、ショア財団(映画『シンドラーのリスト』の映画監督でユダヤ人のスティーブン・スピルバーグが寄付して創設)ではホロコースト時代の生存者の証言のデジタル化行っています。今回の映画の主人公サラは1930年生まれ、2018年で亡くなりました。1949年にアメリカに移住して3人の子供、4人の孫に恵まれてこの世を後にしました。

今でこそ、衝撃的、しかしヨーロッパをドイツ・ヒトラーに蝕まれた第二次世界大戦当時であれば、氷山の一角の出来事でありましょう。しかし、歴史は繰り返し、今、ウクライナがロシアに蝕まれています。この映画(実話)をみて、ウクライナの風景が映し出されるにつれ、何度も同じ侵略に遭う人々、その子孫たちを思い、ひまわりと青い空が平和の中で存分に輝くときがくるのを願わずにはられません。

1941年のポーランド西部、当時はまだロシア政権下にあったウクライナ地方近くのポーランドのコレッツという片田舎でこの映画は始まります。ドイツがポーランドを侵略し、国内のユダヤ人迫害が始まります。主人公のユダヤ系ポーランド人サラの一家もナチスに追われ、両親と幼い兄弟を殺されつつ、兄とともにロシアへの脱出を試みます。

ロシアの入り口はすぐそこ、コレッツの東側にウクライナの片田舎があるのです。そこに入れば、ナチスと敵対しているロシアの保護でなんとか生き延びることができるとまだ13歳になったばかりのサラは考えました。逃亡途中、兄と離ればなれになり、一人着の身着のままなんとかウクライナに入り込むことができたのです。

サラがウクライナの土地に一步入った途端、風景が代わります。青い空に燦々と

ちょっと一言

●早くもアカデミー賞の季節となった。毎年毎年、作品ノミネートを決めるのも大変、というかこれほどアンフェアな決定はない、というのが自論。同じ土俵のうえでの勝負でないので、運の良し悪しのような気がする。「トップガン」のトムが漏れて不満続出。

Victoria 見聞録ダウンロード&ビューサイト：<http://victoriakenbunroku.weebly.com>

【気になる漢字】
虚心坦懐
きよしんたんかい
心におだかまりもな
く、気持ちさがさつば
りしていること、ま
たは平静に事に望む
こと。



輝くひまわり。それは自由と平和の象徴！と13歳のサラが考えたわけではないでしょうが、それを観るこちらは希望を持ってしまいます。そして、ちょうどそこへ馬車を引いた農夫が通りかかり、サラは仕事をくれないか、と話かけます。

「お前はユダヤ人だ」と言われつつも「ユダヤ人ではありません」とウソを貫き、その家の一家の女中としてまずは衣食住を確保しました。これで、戦争が終わるまで、ナチスが撃退されるまで、なんとか生き延びよう、とサラは頑張ります。しかし、そのうちにナチスが入り込みユダヤ人迫害を強化、また保護してくれるはずのロシア軍が食料確保に農家を荒らし暴行するなど恐怖は2倍に膨れ上がることとなりました。

ここで、一つ、今のウクライナ状況を彷彿とさせる出来事が描写されます。ウクライナ農夫を襲ったロシア軍人が農夫を罵りツバを吐いたのです。衝撃的な一瞬でした。こうしてウクライナはロシアから虐げられてきたのでしょうか。それが今、極めになっていると思った次第です。20世紀の悪、ヒトラー、そして21世紀の悪、プーチン。歴史は繰り返すごとく、プーチンも滅びるでしょう。

なお、この映画は今年ロシアがウクライナに進行する前に製作された映画なので、ウクライナを意識しての製作ではないようです。だからして、自然なウクライナが描写されていると思います。

☆☆☆☆イベント in Victoria ☆☆☆☆

●1月28日(土)、10-11:30pm: Elk/Beaver Lake Regional Park(5267 Patricia Bay Hwy)にて、リス探検。詳細は、www.crd.bc.ca/parks-recreation-culture

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

広告は、**Victoria** 見聞録へ

ご連絡は、vicken21@hotmail.com PDF配信申込はこちらへ



Fujiya
JAPANESE FOODS

VICTORIA FUJIYA

★営業時間★

火・水・土・日: 11AM-5:30PM

木・金: 11AM-6PM

月: 休業

大好評の安くておいしい

寿司、どんぶり、から揚げチキン、餃子、お刺身、お弁当ボックスなど、新メニューもあります。

新鮮で豊富な品揃えの日本食を

お手軽な値段で提供し

皆様のお越しをお待ちしております。

3624 Shelbourne St. Ph: 250-598-3711

Classified

●Saanich ボランティア：社会貢献、Saanich Volunteer Services Society 詳細は、www.saanichvolunteers.org

●パーソナル・ディザスターズ (Personal Disasters). 思いがけない参事に赤字がヘルプ。1-888-800-6493、詳細は、redcross.ca

●動物協会、BCSPCA. 常時里親募集。捨てられた、又は虐待された犬、猫、他のホームレスペットをファミリーメンバーに。詳細は、www.sPCA.bc.ca

●Habitat For Humanity：ファミリーのハウジング救済。家具等寄付歓迎。詳細は、www.habitat.ca

●Gospel for Japan：日本人の為の福音と生活サポート。失敗しないお付き合いの仕方、ホームスクール、新改訳の新約聖書の無料配布など。是非ご連絡を以下のサイトから下さい。
[HTTPS://GfJV.ca](https://GfJV.ca)

●書道教室：子供から大人まで。希望者は日本教育書道研究会にて級位・段位を取得していただけます。詳細は、mariko99@shaw.caまで

【編集後のひとりごと】2023年に入り、第2号です。やっといつものペースに戻れて、パワー全開！と言いたいところですが、もう萎えています。まずは家庭内水害です。8年経過した Hot Water Tank をやっと新調、業者がやってきてキレイに替えてくれたのはいいですが、やっぱり水が少々漏れますね。その後、なぜかシャワーが機能しなくなり、ついにはお湯がでなくなりました(バスルームのみ)。業者によると蛇口ハンドルの奥にあるカートリッジがオカシイということでこれも替えてもらいました。新年早々水害続き。とはいえ大雨で家が浸水したわけではないので文句をいうのはやめときます。これぐらいで済んでよかった、と思うと割に気分がラクにもなります。それにしても、もう1月が終わります。日本はいつになく寒波で大変なようです。

投稿募集：

Victoria 見聞録への投稿、電子版 PDF 送付等のお申し込みは vicken21@hotmail.com へ、氏名と連絡先を必ず明記の上ご連絡下さい。

Victoria 見聞録に掲載されている記事に関する著作権は、BrightGate Info Services に帰属します。これらの記事を無断で利用、又は転載することを固くお断りいたします。